

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（付帯構造物設置工）実施要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p>1. 【 省 略 】</p> <p>2. I C T 活用工事の概要</p> <p>I C T 活用工事とは、施工プロセスの各段階（以下①～⑤）のうち、全てもしくは一部において I C T 施工技術を活用する工事である。</p> <p>①～② 【 省 略 】</p> <p>③ I C T 建設機械による施工 <u>（該当無し）</u></p> <p>④～⑤ 【 省 略 】</p> <p>ただし、②④⑤を必須とし実施することとする。</p> <p>※ I C T の活用区分については《表 - 1 I C T の活用区分 <u>について</u>》を参照。</p> <p>I C T 付帯構造物設置工は I C T <u>活用工事（土工）</u> <u>及び I C T 活用工事（舗装工）</u> の関連施行工種（同時施行のみ）として実施することとする。</p> <p>3. 対象工事</p> <p>I C T 活用工事の対象工事は、I C T <u>活用工事（土工）</u> を実施する工事で、I C T <u>活用工事（付帯構造物設置工）</u> の実施を受注者が希望する工事とする。</p> <p>4. 【 省 略 】</p> <p>5. 取組内容</p> <p>① 3 次元起工測量</p> <p>受注者は、起工測量において、3 次元測量データを取得するため、下記 1）～ 8）から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。ただし、I C T 土工等の起工測量データ等を活用することができる。</p> <p>1）～ 2） 【 省 略 】</p> <p>3） <u>T S 等光波方式</u> を用いた起工測量</p> <p>4） <u>T S</u> （ノンプリズム方式）を用いた起工測量</p> <p>5）～ 8） 【 省 略 】</p> <p>②～③ 【 省 略 】</p> <p>④ 3 次元出来形管理等の施工管理</p> <p>付帯構造物設置工の施工管理において、I C T を活用して施工管理を実施する。</p> <p>< 出来形管理 ></p> <p>下記 1）～ <u>8</u>）のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</p> <p>1） <u>T S</u> 等光波方式を用いた出来形管理技術</p> <p>2） <u>T S</u> （ノンプリズム方式）を用いた出来形管理技術</p> <p>3）～ 6） 【 省 略 】</p> <p>7） <u>R T K - G N S S を用いた出来形管理</u></p> <p><u>8</u>）その他の 3 次元計測技術による出来形管理技術</p> <p>なお、監督員との協議の上でほかの <u>3 次元</u> 計測技術による出来形管理を行ってもよい。</p>	<p>1. 【 省 略 】</p> <p>2. I C T 活用工事の概要</p> <p>I C T 活用工事とは、施工プロセスの各段階（以下①～⑤）のうち、全てもしくは一部において I C T 施工技術を活用する工事である。</p> <p>①～② 【 省 略 】</p> <p>③ I C T 建設機械による施工 <u>【新設】</u></p> <p>④～⑤ 【 省 略 】</p> <p>ただし、②④⑤を必須とし実施することとする。</p> <p>※ I C T の活用区分については《表 - 1 I C T の活用区分 <u>【追記】</u>》を参照。</p> <p>I C T 付帯構造物設置工は I C T <u>【追記】</u> 土工 <u>【追記】</u> の関連施行工種（同時施行のみ）として実施することとする。</p> <p>3. 対象工事</p> <p>I C T 活用工事の対象工事は、I C T <u>【追記】</u> 土工を実施する工事で、I C T <u>【追記】</u> 付帯構造物設置工の実施を受注者が希望する工事とする。</p> <p>4. 【 省 略 】</p> <p>5. 取組内容</p> <p>① 3 次元起工測量</p> <p>受注者は、起工測量において、3 次元測量データを取得するため、下記 1）～ 8）から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。ただし、I C T 土工等の起工測量データ等を活用することができる。</p> <p>1）～ 2） 【 省 略 】</p> <p>3） <u>トータルステーション</u> を用いた起工測量</p> <p>4） <u>トータルステーション</u> （ノンプリズム方式）を用いた起工測量</p> <p>5）～ 8） 【 省 略 】</p> <p>②～③ 【 省 略 】</p> <p>④ 3 次元出来形管理等の施工管理</p> <p>付帯構造物設置工の施工管理において、I C T を活用して施工管理を実施する。</p> <p>< 出来形管理 ></p> <p>下記 1）～ <u>7</u>）のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</p> <p>1） <u>トータルステーション</u> 等光波方式を用いた出来形管理技術</p> <p>2） <u>トータルステーション</u> （ノンプリズム方式）を用いた出来形管理技術</p> <p>3）～ 6） 【 省 略 】</p> <p><u>【 新 設 】</u></p> <p><u>7</u>）その他の 3 次元計測技術による出来形管理技術</p> <p>なお、監督員との協議の上でほかの <u>【追記】</u> 計測技術による出来形管理を行ってもよい。</p>	

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（付帯構造物設置工）実施要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p><出来形管理及び規格値> 【 省 略 】 <出来形管理帳票> 【 省 略 】 ⑤ 3次元データの納品 受注者は、5. ④による3次元施工管理データを<u>工事完成図書として</u>納品する。</p> <p>6. 【 省 略 】</p> <p>7. 【 省 略 】</p> <p>7－1 施工管理、監督・検査の対応 発注者は、I C T活用工事を実施するにあたって、林野庁が定める施工管理要領、監督検査要領（《表－2 I C T <u>施工技術</u>と適用工種》【要領一覧】）に則り、監督・検査を実施するものとする。 監督員及び検査員は、受注者に従来手法との二重管理を求めない。</p> <p>7－2 【 省 略 】</p> <p>7－3 工事費の積算 発注者は、発注に際して従来通り積算を行い、発注するものとする。ただし、契約後の協議において受注者からの提案によりI C T活用工事を実施する場合、<u>I C T活用施工を実施する項目については、各段階を設計変更の対象とし、別紙1－③の「I C T活用工事（付帯構造物設置工）積算要領」に基づく積算に落札率を乗じた価格により契約変更を行うものとする。</u> 受注者が、3次元起工測量及び3次元設計データ作成を行った場合、発注者は、3次元起工測量経費及び3次元設計データ作成経費についての見積り提出を求め、設計変更時に計上するものとする。</p> <p>8. 【 省 略 】</p> <p>9. I C T活用工事における工事完成図書の電子納品について 3次元出来形管理等の施工管理及び3次元データの納品については、<u>林野庁</u>が策定した各要領に準拠するとともに、富山県電子納品運用ガイドラインによるものとする。</p> <p>10. ～11. 【 省 略 】</p> <p>附則 この要領は、令和4年10月15日以降に作成する設計書から適用する。</p> <p>附則 この要領は、令和5年8月15日以降に作成する設計書から適用する。</p>	<p><出来形管理及び規格値> 【 省 略 】 <出来形管理帳票> 【 省 略 】 ⑤ 3次元データの納品 受注者は、5. ④による3次元施工管理データを<u>【追記】</u>納品する。</p> <p>6. 【 省 略 】</p> <p>7. 【 省 略 】</p> <p>7－1 施工管理、監督・検査の対応 発注者は、I C T活用工事を実施するにあたって、林野庁が定める施工管理要領、監督検査要領（《表－2 I C T <u>活用工事</u>と適用工種》【要領一覧】）に則り、監督・検査を実施するものとする。 監督員及び検査員は、受注者に従来手法との二重管理を求めない。</p> <p>7－2 【 省 略 】</p> <p>7－3 工事費の積算 発注者は、発注に際して従来通り積算を行い、発注するものとする。ただし、契約後の協議において受注者からの提案によりI C T活用工事を実施する場合、<u>【追記】別紙1－③の「I C T活用工事（付帯構造物設置工）積算要領」に基づき設計変更を行うものとする。</u> 受注者が、3次元起工測量及び3次元設計データ作成を行った場合、発注者は、3次元起工測量経費及び3次元設計データ作成経費についての見積り提出を求め、設計変更時に計上するものとする。</p> <p>8. 【 省 略 】</p> <p>9. I C T活用工事における工事完成図書の電子納品について 3次元出来形管理等の施工管理及び3次元データの納品については、<u>国土交通省</u>が策定した各要領に準拠するとともに、富山県電子納品運用ガイドラインによるものとする。</p> <p>10. ～11. 【 省 略 】</p> <p>附則 この要領は、令和4年10月15日以降に作成する設計書から適用する。</p> <p>附則 この要領は、令和5年8月15日以降に作成する設計書から適用する。</p>	

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（付帯構造物設置工）実施要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p>附則 <u>この要領は、令和 6 年 8 月 1 5 日以降に作成する設計書から適用する。</u></p> <p>《表－1 I C T の活用区分について》 【表 省 略 】</p> <p>《表－2 I C T 施工技術 と適用工種》 【表 省 略 】</p>	<p>【 新 設 】</p> <p>《表－1 I C T の活用区分について》 【表 省 略 】</p> <p>《表－2 I C T 活用工事 と適用工種》 【表 省 略 】</p>	